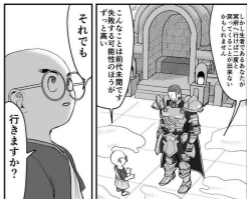


幼馴染、  
受肉。



R18





心遣い  
感謝する

それでも  
行かねば



急にすまない…

大丈夫だよ  
それより座って



数日前

グレイグ……

キ



それでホメロスさんを  
取り戻すために  
ドゥルダ郷に口利き  
してほしいと……

自分勝手な願いで  
すまない



ホメロスは取り返しの  
つかない罪を犯したの

お前の村を焼いた人間を  
甦らそうなんて  
それをお前に頼むなんて  
無神経にも度が過ぎる  
とも理解している



それでも俺は  
ホメロスを……

グレイグ



イレブン……



ホメロスを

取り戻そう



有難う

ぐっ

絶対に  
取り戻してみせる

双頭の蟹の鎧……あれがホメロスの肉体を取り戻す鍵になるかもしれない  
イレブンから聞いた俺は王に許可を散るとドゥルダ卿へ向かった  
ホメロス 待っていてくれ……

ドウルダ郷



おや



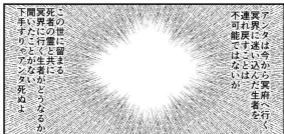
サンボ  
準備しな

来たみたいだね



あれは  
断つても

絶対に引かない  
男の顔だよ









セックスだ！

つまり



わああああ!!

つまり  
セックスです



えっ



むう……

どうだい  
出来そうかい？





よし！決めたぞ！  
俺は親友と……..  
ホメロスと

セックスする!!

漢の中の漢

イヤー!!



サンポ!!



よく言った！

ハイッ！



はい!!

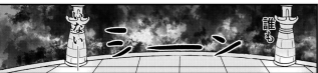


今からお前を  
冥界へ送る

分霊の儀を  
始めるよ







ホメロス!!



やっと  
また会えた

よかった……

よかった  
けど……?



わっ

ぶっ







どうして  
そんなことを  
言うんだ

俺はお前を救いに……  
連れ戻しにきたんだ

誰もそんなことは  
頼んでいない

早く帰れ！  
これ以上ここにいると  
後戻り出来なくなるぞ！！

世界は平和になり  
オレは役目を全うした！  
お前にはお前を待つ  
居場所がある！

聞いているのか  
グレイダ！

まだ

お前の本当の気持ち  
聞いていない

だめだ

あっ



オレの気持ち……？



ホメロス

い 今更デルカダールに戻っても  
オレの居場所はどこにもない  
オレは……大罪人だ  
惨めな生は嫌だ  
それがオレの気持ちだ……



お前の居場所は  
俺が作る

俺の隣だ

お前は嘘をつくのが  
上手いから  
俺はいつもお前の  
本音を聞き逃していた

今度はそは嘘をつかないでくれ  
俺は俺の隣にいてくれるか？  
お前は俺の隣にいてくれるか？  
言ってくれるか？

ぎゅゅ



どうなんだ  
ホメロス

お前は俺を  
嫌いか…？



じゃあ

好きか？

そっ



嫌いではない……  
色々言いたいこと  
はあるが  
決して嫌いでは……



ああ……

カーッ

なに？





始めてみないか

まずは  
キスから



んっ

ちゅ



あっ

ふっ



ふっ  
はっ



イケるかも  
しれないかも

嫌じゃなかったか？













「イツ…アツ！」



グレイタ♥

早く  
来てくれ♥



暑い……

ムフ  
アア











そしてこれが  
俺のチンポだ

今からお前の中に  
入れるチンポだ

大きい…

……

あまり緊張するなよ  
入らなくなるぞ…

じゃあ入れるぞ……

うあー！

ぐぐぐ…





苦しいか...?

平...気だ.....っ



せっかくなんだ



好きなように動いてくれ...



アピイツ♥



びびり





ウオオオオオオオ  
 出すぞ出すぞつ  
 ホメロスウウ!!



はああっ  
 イクッ♡





グレイグ 頼む…



手を……っ

れっ

繋いでいてくれ



ホメロス!!  
好きだ!  
ずっと  
一緒にいよう!

うああ  
うああ  
うああ

帰る場所がないと  
お前が言うのなら  
俺が前回の帰る  
家になろう!!

本当に?



ずっと……っ

一緒にいてくれるか?

ああ…



だからお前は俺の帰る  
場所になってくれ!

グレイグ……



オレもお前と  
共にありたい!





はあ  
はあ

はっ  
はっ

帰ろう

ホメロス



ごめんくださいーい

はっ

はっ  
はっ  
はっ





グレイグ!

はい  
うて



とホメロスさん!!

スッ

「さん」はいい……



二人で礼を言いに  
来たんだ  
有難うイレブン……

あああ

けあ

手間をかけさせたな  
勇者よ  
その……有難う……  
礼を言う

